

## 第9回京田辺市総合計画審議会議事録（要旨）

|     |   |
|-----|---|
| 会議名 | 第9回京田辺市総合計画審議会  |
| 日 時 | 令和2年2月27日（木）午前10時から   |
| 場 所 | 京田辺市庁舎5階 議会全員協議会室   |
| 内 容 | <ol style="list-style-type: none"><li>1 開 会</li><li>2 第4次京田辺市総合計画まちづくりプランのパブリックコメントの対応について</li><li>3 第2期京田辺市まち・ひと・しごと創生総合戦略のパブリックコメントの対応について</li><li>4 第4次京田辺市総合計画まちづくりプランの答申</li><li>5 市長あいさつ</li><li>6 閉 会</li></ol>                      |
| 出席者 | <p>【委員】谷口会長、米田委員、中山委員、青木委員、倉橋委員、川嶋委員、白川委員、鈴木（逸）委員、鈴木（俊）委員、寺西委員、喜多委員、畠山委員、藤田委員、井上委員、山本委員、河内委員、宮寄委員</p> <p>【市側】上村市長、西川理事、伊東公営企業管理者職務代理人（上下水道部長）、小野危機管理監、西川こども政策監、村上総務部長、村田市民部長、長田健康福祉部長、古川建設部長、安見建設部技監、森田経済環境部長、白井教育部長、井辻消防長、池田企画政策部副部長 他</p> |

### 1 開 会

事務局から開会にあたっての説明

【会長】 本日の会議の議題ですが、「総合計画まちづくりプラン」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」のパブリックコメントの結果と対応につきまして審議をいただくことになっています。その後、まちづくりプランと総合戦略を確定いたしまして、本日この場で市長に答申してまいりたいと考えています。

今日の審議会で最後の審議となりますので、どうぞよろしくお願いします。

### 2 第4次京田辺市総合計画まちづくりプランのパブリックコメントの対応について

【会長】 それでは早速ですが、事務局から説明をお願いします。

<事務局資料説明>

・資料1 総合計画まちづくりプランの策定に係るパブリックコメント結果

【会長】 ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問等はございますでしょうか。

【委員】 パブリックコメントの治水関係はそれでいいと思うのですが、まちづくりプラン29ページに載っています新西浜樋門の整備については、今後、京都府に要望するということですが、その中で、三山木、飯岡、宮津、その3地区についても冠水被害が毎年出ているわけでございますが、計画の29ページを見ますと飯岡は入っていましたが、宮津が抜けているのではないかと思います。そういった地域も含めて今後関係機関に要望を続けていただきたい。それから漏れ落ちた地域も入れていただきたいと思います。

【事務局】 事業概要には「など」という表現をしていますが、計画の記載についてはこの表現でとどめさせていただきて、今後の具体的な要望活動については、これまでどおり地元の要望等を踏まえて市もしっかりと対応してまいりたいと考えていますので、ご理解いただきたいと思います。

【会長】 ほかにご意見、ご質問等はございますでしょうか。

【委員】 まちづくりプランのパブリックコメント結果の3ページの健康づくりの考え方としまして、主要事業の高齢者の身近な居場所づくり支援事業を掲げられていて、地域住民が主体となって元気いきいき体操などをやって住民に健康づくりに取り組んでほしいということですが、実際、なかなか元気いきいき体操をやる担い手が各地域少なくなってどこも大変なことになっています。現在、稼働しているのは全行政区の中で3分の1ぐらいしかないのでないかという気がします。これについて、もう少し市としての支援活動、特に担い手の育成等も考えていただければ、もっとうまく生きてくるのではないかと思います。

【事務局】 健康づくりにつきましては、地域の居場所づくりということで、現在、19地区で取り組みをしていただいているところです。毎年少しずつ拡大をしている状況ですが、各地域の担い手も含めて、市の職員が自治会に出向かせていただいて体操の普及と、それを担っていただく方々で、公民館を活用して進めているところです。パブリックコメントのご意見の中にありました、そこからの買い物サポートであるとか、茶話会であるとか井戸端会議というものについても、そこを拠点にして少しずつ事業を拡大させていただいているところです。さらに進めていけるように、各区自治会のご協力もいただきながら、できれば全地域でさせていただきたいということで進めているところです。

【会長】 ほかにご質問、ご意見はございますでしょうか。よろしいですか。よろしいよ

うでしたら、パブリックコメントからの修正はなしということで、参考にさせていただく、あるいは趣旨が記載されている等ということで対応させていただきます。

それでは、これが最後になりますのでお諮りしたいと思います。第4次京田辺市総合計画まちづくりプランの案につきまして、資料3にあります形で答申するということでおろしいでしょうか。ご異議ございませんか。

(異議なし)

【会長】 それでは、審議会として第4次京田辺市総合計画まちづくりプランを答申することといたします。どうもありがとうございました。

### 3 第2期京田辺市まち・ひと・しごと創生総合戦略のパブリックコメントの対応について

【会長】 それでは、次の議題ですが、まち・ひと・しごと創生総合戦略のパブリックコメントの対応につきまして、事務局から説明をお願いします。

<事務局資料説明>

- ・資料2 まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に係るパブリックコメント結果

【会長】 ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問等はございますでしょうか。

【委員】 資料2のパブリックコメントの2ページにあります1番目的人口ビジョン、人口の将来展望ですが、この資料では、7万8000人をピークに、その後は減少するだろうということですが、先日の議会報告会のときでも論議されていましたが、7万8000人にとどめるのではなく、もっと高くしてもいいのではないかという意見が出ていました。

例えば、資料4によりますと、21ページに北部地域は平成27年以降減少、生産年齢人口は令和7年をピークに減少しているということで、北部地域がいち早く老齢人口が増えていくと評価されています。ところが、市民が考えるのは、北部地域は京田辺市において、非常に利便性の高い地域であり、また住みやすいまちとして非常に評価が高くなっています。また、将来、北陸新幹線の新駅等を考えると、駅付近に住宅開発の可能性が残っているところがたくさんあるわけです。こういうところで賑わいのあるまちを維持するために、若い世代の市内への流入を図ることであれば、北部地域の開発が非常に有効ではないかと考えるわけです。

この辺、いろいろと難しい面もあるかと思いますが、住民の意見がたくさん出ているということで確認させていただきたいと思います。

【事務局】 確かに新しいところを開発すれば新たな人口流入も考えられるのですが、国

内の状況を考えると、人口が減少していく中で、本市では北部について高齢化が進んでくると、従前の大規模開発地で、空家等人口密度が下がっていくことが心配されます。今後は既成の市街地に新しい人が住み替えて入ってもらえるようにして、人口密度を維持する、高めるというようなことをまず優先的にやって、将来的には8万人を維持して持続可能なまちが続くようにという考え方で今後進めていきたいと考えています。

今後市街化区域を一切広げないということはないのですが、しっかり現状の状況を見ながら、線引きについても現実的な対応を図っていく形で考えています。

また、具体的な土地利用につきましては、今後都市計画マスタープランを定めてまいりますので、その中でしっかりと細かいところについても議論して計画を策定してまいりたいと考えています。

【会長】 そのほかご意見はございますか。

【委員】 資料4の例えれば44ページ、「同志社大学等との連携」とあるのですが、「同志社大学・同志社女子大学等」としてもらえるとありがたいです。総数6,000人強の学生のうち4,000人がこちらに通っておりまして、女子大生の活躍がとても期待されるし、私たちもできればと思っているので、「・同志社女子大学」の追加を可能ならお願いします。

【事務局】 「同志社大学等」については、同志社女子大学も含めての表現ですが、まちづくりプランのほうとのバランスも考えながら記載を考えさせていただきたいと思います。対応はこちらにお任せいただきたいです。決して女子大が入っていないということではありませんのでご理解いただきたいと思います。

【会長】 ほかの箇所との整合もありますので、事務局でご検討いただくということでよろしいでしょうか。

ほかにはよろしいですか。ご意見がないようでしたらお諮りしたいと思います。今の資料2の内容をもちましてパブリックコメントの対応としまして、それから第2期京田辺市まち・ひと・しごと創生総合戦略の案としてよろしいでしょうか。ご異議ございませんか。

(異議なし)

【会長】 どうもありがとうございました。最後に、総合計画の表紙につきまして、資料が1枚あります。これについて説明をお願いします。

<事務局資料説明>

- ・資料5 第4次京田辺市総合計画表紙案

**【会長】** 表紙につきまして何かご意見はございますか。カラー版でこのようにできるということです。まちづくりプランの中もカラーになるのですか。

**【事務局】** 表紙はこういうデザインを今のところ考えておりまして、中身についても、デザイン性のある形で変えることとし、カラーで考えています。

**【会長】** よろしいでしょうか。

**【委員】** これが前回、第3次のときは、京田辺市総合計画まちづくりプランとはっきり明示されていますが、今回は左上を見ると確かに第4次京田辺市総合計画と書いていますが、もう一つこれがピンと来ないので、このあたりもデザイン性を考えただければどうかと思いました。

**【事務局】** 私どもの考えとしては従来の行政が作っているような計画のイメージというよりも、これは何だろう、カラフルだなというような形で、ちょっと見てみようかと思っていただけるような表紙をと考えていますが、今いただいたご意見も参考にバランスを考えたいと思います。

**【会長】** よろしいでしょうか。それでは、表紙についてはまた少しバランスを考えていただくということにさせていただきます。以上で審議はすべて終了とさせていただきます。進行について事務局にお返しいたします。

**【事務局】** 会長、どうもありがとうございました。それでは、総合計画まちづくりプラン答申の準備をさせていただきます。上村市長もこちらに参りますので、休憩を挟みたいと思います。10時50分に再開ということでよろしくお願いします。

#### 4 第4次京田辺市総合計画まちづくりプランの答申

**【事務局】** 審議会を再開させていただきたいと思います。早速ですが、先ほど総合計画まちづくりプランの答申内容について決定いただきましたので、答申をお願いしたいと思います。その前に、会長、一言ご挨拶をよろしくお願いしたいと思います。

**【会長】** 本審議会は平成30年5月に第4次京田辺市総合計画基本構想とまちづくりプランの策定につきまして、また昨年10月以降はこれに合わせて第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定につきまして約2年間9回にわたり審議を行ってまいりました。その間、委員の皆様方には本当にご多用なところ、大変なご尽力を賜りまして、それぞれの見地、立場から京田辺市の発展につながる貴重なご意見を頂戴いたしました。

皆様のお力添えによりまして、本日、「第4次京田辺市総合計画まちづくりプラン」の答申と、「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に向けました審議を終えましたことを、本当に審議会の会長といたしまして嬉しく思っています。

本審議会の役割はここで一旦区切りとなりますが、これからはいかにしてこの計画を実現させていくかということが問われてまいります。本審議会の答申、それから審議を進めてまいりました計画に基づき京田辺市の都市像であります「緑豊かで健康な文化田園都市」の実現に向け、市長を先頭に最善を尽くしていただければ嬉しいかと、お願ひする次第でございます。

最後に、ここに至るまでの委員の皆様方のご指導、ご鞭撻に感謝申し上げますとともに、本日市長に答申できることを深く感謝申し上げます。どうもありがとうございました。

**【事務局】** ありがとうございました。それでは、会長より市長に答申をお願いしたいと思います。

**【会長】** 第4次京田辺市総合計画まちづくりプランについて、答申。

平成30年5月29日付京企第24号で諮問のありました上記のことにつきまして、本審議会で慎重に審議した結果、別添のとおり、とりまとめいたしましたので答申いたします。

(答申書を会長から市長へ手交)

## 5 市長あいさつ

**【事務局】** それでは、上村市長より一言ご挨拶を申し上げます。

**【市長】** 皆様、おはようございます。本日は会長をはじめ、審議会委員の皆様方には公私とも大変ご多用のところご出席賜り、誠にありがとうございます。

さて、ただいま「第4次京田辺市総合計画まちづくりプラン」につきまして答申をいただきました。委員の皆様方には平成30年、一昨年の5月に新しい総合計画の基本構想とまちづくりプランを諮問して以来、まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定も合わせて、本当に長きにわたりましてご審議を賜りましたことに心より御礼を申し上げたいと思います。

本市におきましては高い交通利便性と豊かな自然環境、特にまちなかにあります緑、そして里山の風景、そういったことを合わせまして自然環境が大変豊かでございます。そういう中で子育て支援の充実、そしてコンパクトシティの推進に取り組んでまいりました。また、今後ですが、新名神高速道路が全線開通、また将来的には北陸新幹線の新駅設置といったある意味ほかのまちと比較しても発展要素が加わって、今なお人口が

増加しております。しっかりとその流れを引き継いでいきたいと思っております。

答申いただきましたまちづくりプランに基づきまして、今後も目指す都市像であります「緑豊かで健康な文化田園都市」の実現に向けまして、重点プロジェクトをはじめ、5つの柱に紐づく各分野の施策事業を確実に推進しますとともに、総合戦略に基づきまして子育て支援の充実など、出生率の低下の克服、特に本市においてここで生まれ育つていただくという循環を作つてまいりたいと思っております。そのためにも農業や商工業、観光など、地域経済の活性化にしっかりと取り組んでまいりたいと思っております。

そして、みんなが住み続けたいと思える持続可能なまちづくりを進めてまいりますので、どうか今後ともお力添えを賜れればと思います。

そのためにも、この答申の中にもあるかと思いますが、魅力の発信でありますとか、参画と人のつながりの基本姿勢のもとに、行政のみならず、市民の皆さん方と一緒にあってまちづくりを進めてまいりたいと思っております。

委員の皆様方におかれましては、どうか今後とも引き続き市政に当たりましてご指導とご協力、そしてまたご支援を賜りますことを心からお願い申し上げまして、皆様のご健勝と今後なお一層のご活躍をお祈り申し上げまして、簡単ではございますが、この答申をいただくに当たりましてのご挨拶とさせていただきます。長い間本当にありがとうございました。

**【事務局】** ありがとうございました。本日答申いただきました「第4次京田辺市総合計画まちづくりプラン」と合わせてご審議をいただきました「第2期京田辺市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づきまして、新たなまちづくりを着実に進めてまいりたいと思います。委員の皆様方には今後ともお力添えいただきますようよろしくお願いを申し上げます。

なお、今後、総合計画まちづくりプラン、総合戦略とともに、市の内部手続きを経まして、市議会への報告、計画書の製本を行いまして、委員の皆様のお手元にもお届けさせていただきたいと思います。

それでは、長期間にわたりまして大変ありがとうございました。

## 6 閉会